

# ○ 輸出植物検疫に係るエビデンスの構築等事業委託費

令和8年度予算概算決定額 45百万円 (前年度 45百万円)

## <対策のポイント>

相手国の検疫措置による産地負担が大きい果樹等について、産地が長期的に対応可能な検疫条件の設定及び円滑な輸出検査のため、**病害虫の発生状況等の調査、簡易なリスク管理技術の確立及び次世代型植物検疫措置の構築**を輸出産地と連携して行います。

## <事業目標>

検疫が過度な負担となり輸出拡大が困難な果樹等の新規輸出解禁、輸出検疫条件の緩和

### <事業の内容>

#### 1. 病害虫の発生状況等の調査

我が国では問題となっていない検疫対象病害虫の**生態**、農産物に対する**寄生性**等を輸出産地と連携して調査し、**エビデンス**として整理します。

#### 2. 簡易なリスク管理技術の確立

相手国から求められている植物検疫措置に関し、**輸出産地が長期にわたって実施可能な手法や技術の確立**に向けて、それらの**効果を証明するためのデータを収集・整理**します。

#### 3. 次世代型植物検疫措置の構築

**リスク低減効果と環境負荷の低減及び農作物の品質保持が両立する新たな検疫措置を構築**します。

### <事業イメージ>

#### 【病害虫の発生状況等の調査】

病害虫の発生実態  
果実への寄生性

病害虫の生態や分布

オウトウショウジョウバエ等の病害虫  
・我が国産地では被害軽微  
・国内被害が小さいためデータ不足  
・未発生相手国は警戒し措置要求  
・果樹輸出に支障発生

#### 【簡易なリスク管理技術の確立】

(例) 殺菌処理方法の確立

- ・薬剤浸漬による殺菌処理
- ・果実が濡れることによる**貯蔵性低下**や液体の調製等の処理の**作業性が悪い**
- ・果実を濡らさない方法による殺菌処理
- ・果実が濡れないため**貯蔵性低下が改善**
- ・薬液の調製の手間が**不要**

#### 【次世代型植物検疫措置の構築】

サプライチェーンに含まれる一定の病害虫リスク低減効果が見込める管理  
(例)

園地防除

選果

複数の管理手法を組み合わせた検疫措置の評価方法を構築

## <事業の流れ>



エビデンスに基づき相手国と協議し、検疫条件の設定・緩和

【お問い合わせ先】 消費・安全局植物防疫課 (03-3502-5978)